

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
【発行日】 令和 5 年 3 月 27 日 (2023.3.27)

【公開番号】 特開 2022-144906 (P2022-144906A)
【公開日】 令和 4 年 10 月 3 日 (2022.10.3)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-181
【出願番号】 特願 2021-46106 (P2021-46106)
【国際特許分類】
A 0 1 K 2 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
【 F I 】
A 0 1 K 2 3 / 0 0 S

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 3 月 16 日 (2023.3.16)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

ペットの胴回り方向に沿って配置される横方向、及び、前記横方向と直交し且つ前記ペットの腹側から背側を繋ぐ縦方向に延在し、且つ、吸収性コアを含む本体部を有するペット用おむつであって、

前記本体部には、前記横方向の最大開口幅よりも前記縦方向の最大開口幅が大きな縦長形状を有する尻尾穴が形成され、

前記尻尾穴よりも前記腹側に設けられ、前記横方向における前記本体部の側端縁の外側に延出する一対のファスニングタブと、

前記尻尾穴よりも前記背側に設けられ、前記一対のファスニングタブに係合するターゲット部と、

30

を更に備え、

前記縦方向において、前記尻尾穴は、前記縦方向における前記本体部の中心線と、前記中心線と前記ターゲット部の前記腹側の端縁との中間点との間に配置され、

前記尻尾穴の前記腹側の端縁と前記中心線との間の距離は、前記縦方向における前記尻尾穴の前記背側の端縁と前記中間点との間の距離よりも小さい、ペット用おむつ。

【請求項 2】

前記尻尾穴の前記縦方向の最大開口幅は、前記尻尾穴の前記腹側の端縁と前記縦方向における前記本体部の中心線との間の距離よりも大きい、請求項 1 に記載のペット用おむつ。

40

【請求項 3】

前記尻尾穴の前記縦方向の最大開口幅は、前記尻尾穴の前記背側の端縁と前記中間点との間の距離よりも大きい、請求項 1 又は 2 に記載のペット用おむつ。

【請求項 4】

前記尻尾穴の前記腹側の端縁は、前記縦方向における前記本体部の中心線よりも前記腹側に配置されている、請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

【請求項 5】

前記本体部には、前記尻尾穴に重なるように設けられた舌片が形成され、

前記舌片は、前記尻尾穴の端縁に連結された基端部と前記基端部の反対側の先端部とを有し、前記基端部を起点として折り返されたときに前記尻尾穴を開口し、

50

前記舌片の前記先端部は、前記舌片が折り返されていない状態で前記腹側又は前記横方向に向けられている、請求項 1 ～ 4 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

【請求項 6】

前記尻尾穴は、前記本体部の一部が切り取られることによって形成されている、請求項 1 ～ 4 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

【請求項 7】

前記吸収性コアの前記背側の端縁は、前記尻尾穴の前記腹側の端縁よりも前記腹側に配置されている、請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

【請求項 8】

前記尻尾穴の前記腹側の端縁と前記吸収性コアの前記背側の端縁との間の距離は、前記吸収性コアの前記背側の端縁と前記縦方向における前記本体部の中心線との間の距離よりも小さい、請求項 1 ～ 7 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

10

【請求項 9】

前記縦方向に伸長された状態で前記本体部に固定され、前記縦方向において少なくとも前記尻尾穴の前記腹側の端縁と前記吸収性コアの前記背側の端縁との間で延在する伸縮部材を更に備える、請求項 1 ～ 8 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

【請求項 10】

前記吸収性コアよりも前記横方向の外側の位置に配置された防漏ギャザーを更に備え、前記伸縮部材は、前記防漏ギャザーよりも前記横方向の外側の位置に配置されている、請求項 9 に記載のペット用おむつ。

20

【請求項 11】

前記防漏ギャザーは、前記縦方向に延在する第 2 の伸縮部材と、前記第 2 の伸縮部材の収縮によって起立する起立部と、前記縦方向における前記起立部の起立支点となる縦固定部と、を含み、

前記縦固定部は、前記尻尾穴の前記腹側の端縁と前記吸収性コアの前記背側の端縁との間の位置において前記本体部に固定されている、請求項 10 に記載のペット用おむつ。

【請求項 12】

前記横方向における前記尻尾穴の開口幅は、前記腹側に向かうにつれて連続的に狭められている、請求項 1 ～ 11 の何れか一項に記載のペット用おむつ。

30

40

50